

# 佐野市景況レポート

平成25年10～12月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail [s-cci@sanocci.or.jp](mailto:s-cci@sanocci.or.jp)

調査協力：佐野市あそ商工会

## 佐野市景況調査報告

(平成25年10～12月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、178社(回答率61.38%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

### 《 概 況 》

#### ～ 新たなまちづくりへ ～

2013年「ゆるキャラグランプリ」さのまる優勝、おめでとうございます。

佐野市では、「住んでよし、訪れてよし」の佐野市を築きあげる目的で、総合計画において「観光立市の推進」をリーディングプロジェクトと位置付けた。

市民が愛着を持ち、来訪者の市内回遊と新規来訪者の獲得のため、「佐野ブランド化」の推進を掲げた。その中のブランドキャラクターとして、「さのまる」は2011年2月に誕生した。

先月、日銀熊本支店は、2011年グランプリ優勝の「くまモン」の経済効果が、過去2年で1,244億円になったと発表した。

「くまモン」と同様な経済効果は難しいが、それでも、佐野市の更なる知名度アップ、新規来訪者の増加、関連商品の増加など様々な効果が、今後の対応によっては十分期待できる。

新たなまちづくりの起爆剤として、「さのまる」の更なる活用と地元企業の活躍を期待したい。

佐野商工会議所が取りまとめた「平成25年10～12月期佐野市景況レポート」によると、全業種業況DI指数6.4、前期(7～9月)比+13.6と大幅な業況改善となった。(但し、年末、消費増税前の特需等の特殊要因の考慮が必要である。)

利益DI指数(12月期)は▲9.8、9月期比+7.3と業況DI指数に比べ緩やかな改善となった。これは、仕入価格の上昇、販売経費の増加に比べ、販売価格への転嫁が進んでいないことによる。

今後3ヶ月間の全業種業況DI指数は、▲2.9、12月期比▲1.3と若干の悪化を予想する。これは、今後3ヶ月間の売上予想は横ばいに対し、仕入価格等は上昇を予想するため、業況悪化を予想する結果となった。

各事業所の景気に対するコメントをみると、「消費税」、「仕入・原料高」の言葉が多く載っている。多くの事業所では、消費増税後の駆け込み需要の反動等による需要減少、及び円安等による原料・仕入価格の上昇によるコスト・アップを懸念しており、先行きの不安・不透明感は増しているようである。

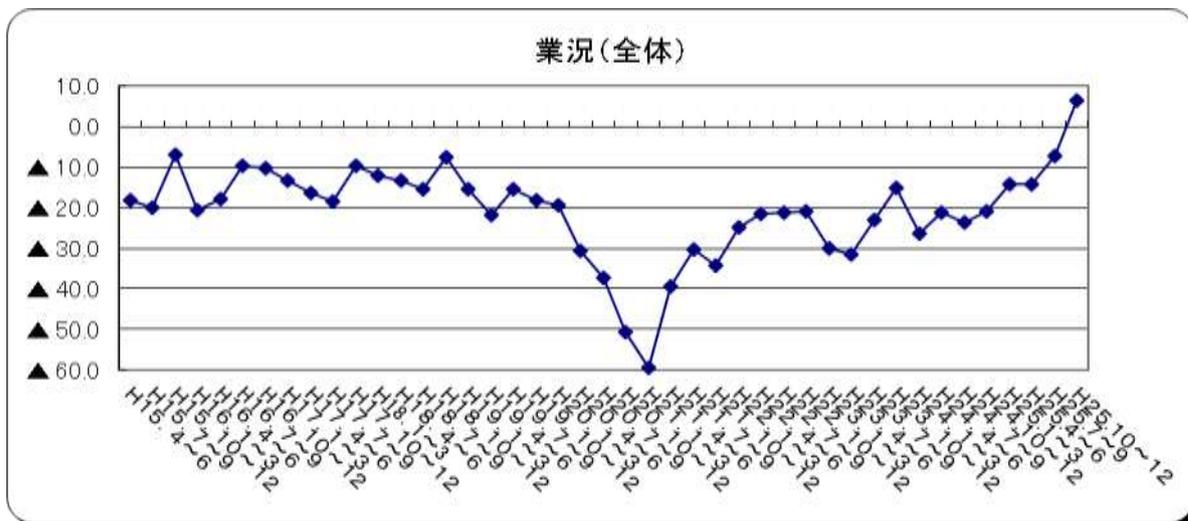
調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

☆ 業況について

全業種 DI 指数 6.4、前期比 13.6 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 50.0 ポイント、②卸売 29.0 ポイント、③小売業（飲・食料品）25.7 ポイント、④機械・金属製造業 17.6 ポイント、⑤建設業 16.7 ポイント

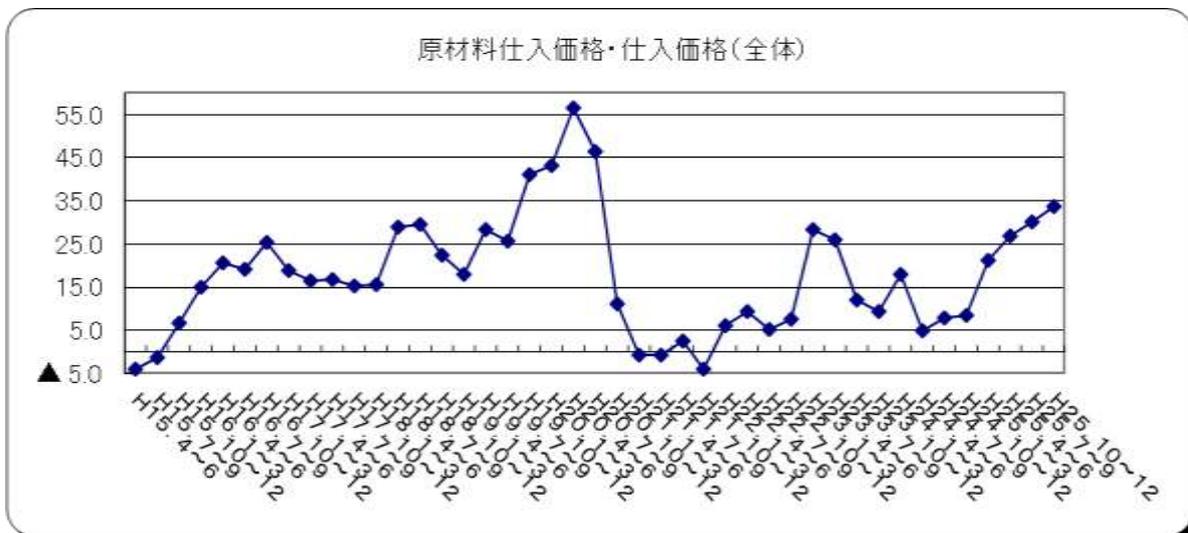


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 33.7、前期比 3.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 78.9 ポイント、②卸売業 60.0 ポイント、③食品製造業 55.6 ポイント、④建設業 52.9 ポイント、⑤飲食店 50.0 ポイント

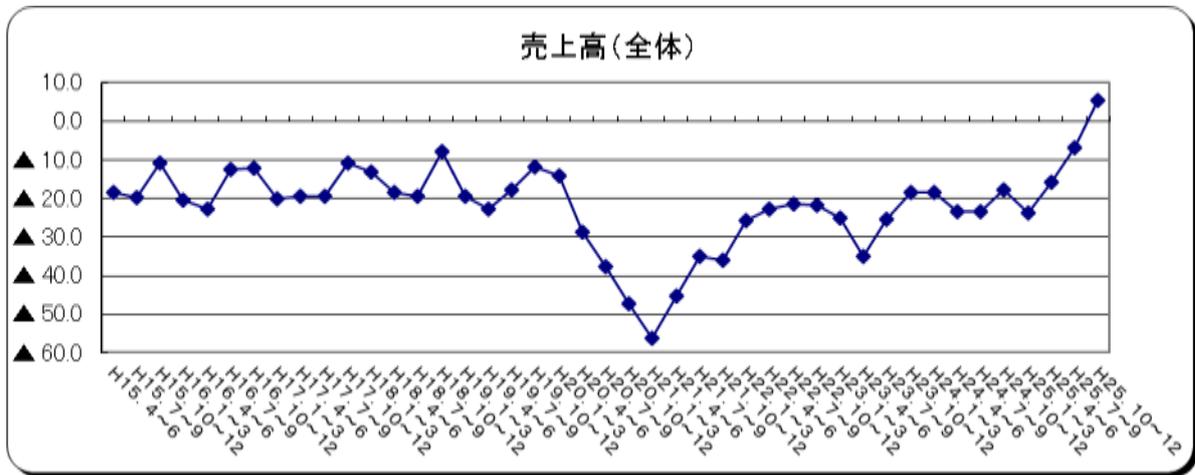


☆ 売上高について

全業種 DI 指数 5.3、前期比 12.0 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①その他の製造業 78.9 ポイント、②小売業（飲・食料品）16.7 ポイント、③飲食店 13.0 ポイント、④卸売業 9.7 ポイント、⑤設備業 7.7 ポイント

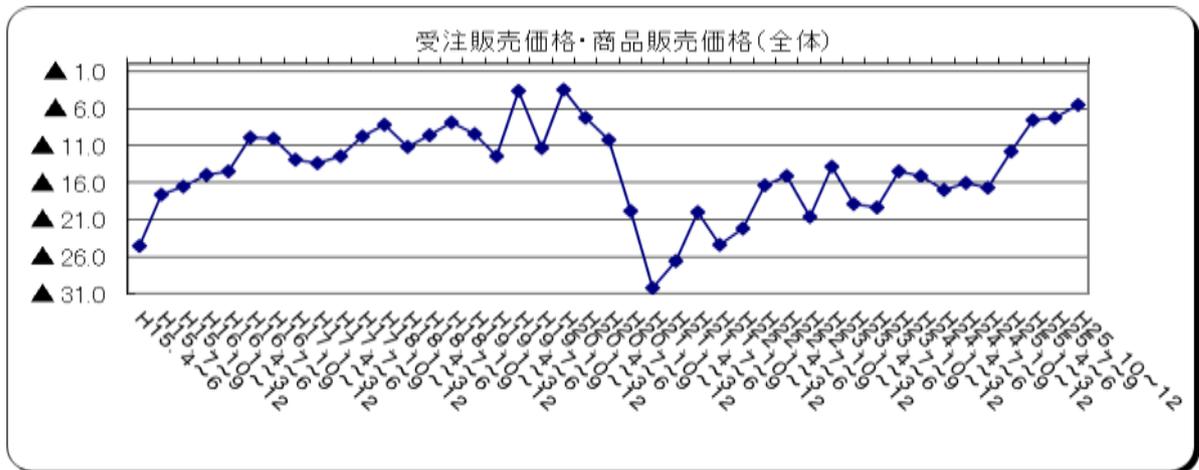


☆ 受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 ▲5.5、前期 1.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ① その他の製造業 60.0 ポイント、②卸売業 9.1 ポイント、③食品製造業及び小売業 (飲・食料品)・飲食店 0.0 ポイント

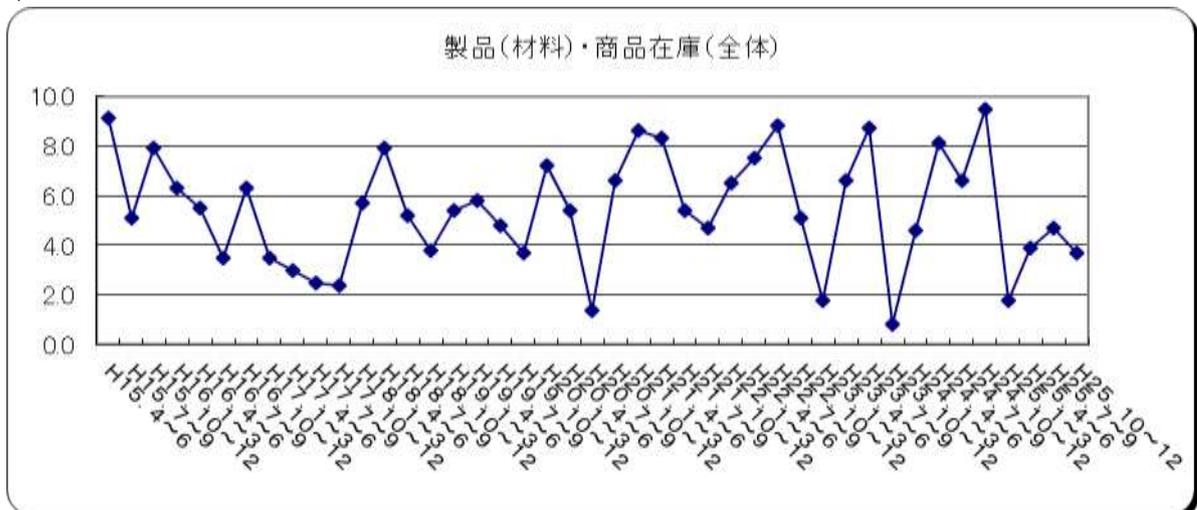


☆ 製品(材料)在庫・商品在庫について

全業種 DI 指数 3.7、前期比 1.0 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①化学・プラスチック製造業 21.1 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 15.8 ポイント、③飲食店 11.1 ポイント、④繊維製品製造業及びその他の小売業 (大型店含む) 6.4 ポイント

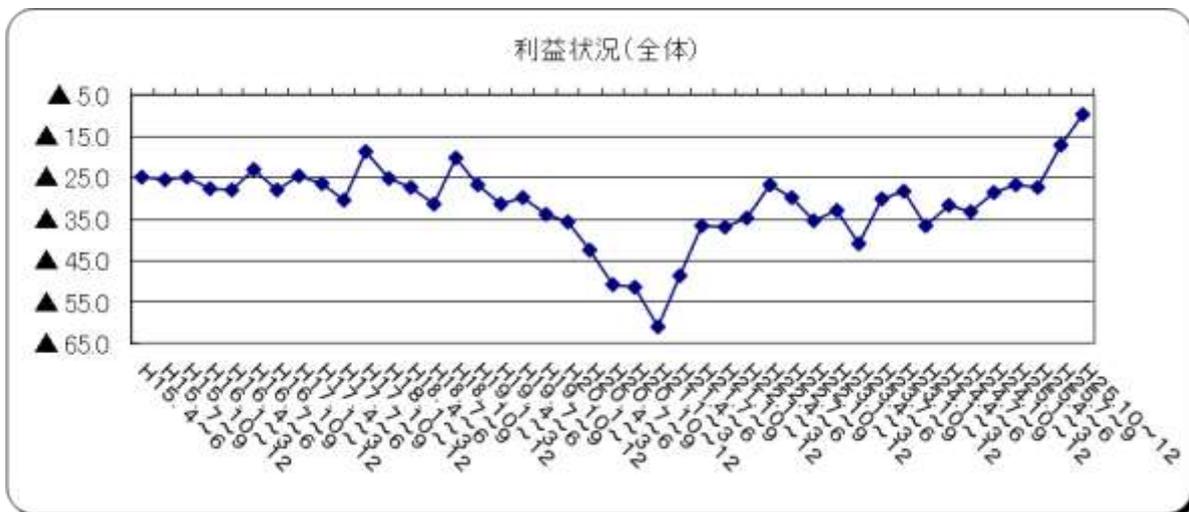


☆ 利益状況について

全業種 DI 指数▲9.8、前期比 7.3 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①その他の製造業 42.9 ポイント、②卸売業及びサービス業 0.0 ポイント、④機械・金属製造業▲3.5 ポイント、⑤食品製造業▲5.7 ポイント

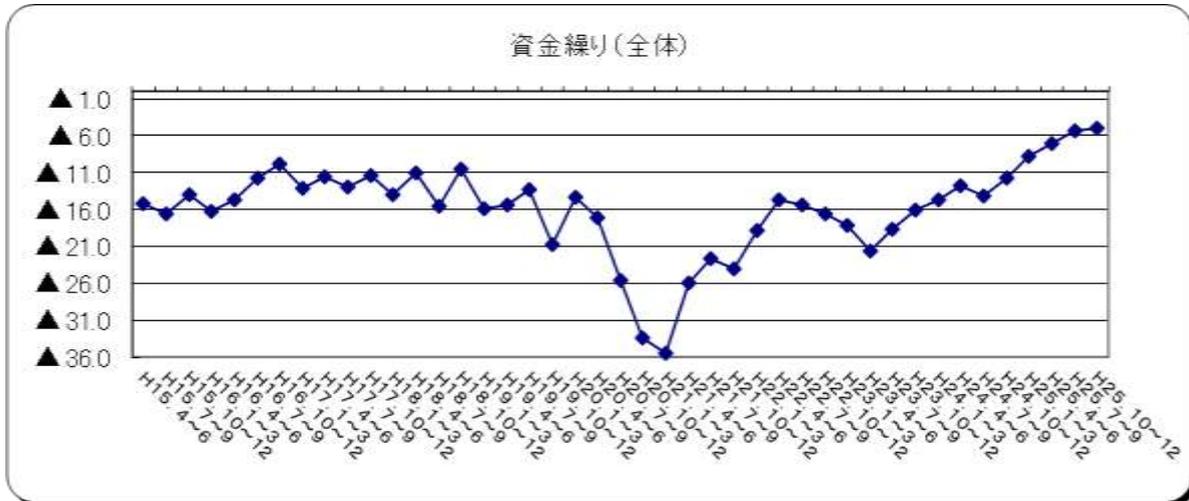


☆ 資金繰りについて

全業種 DI 指数▲4.9、前期比 0.3 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①機械・金属製造業 10.1 ポイント、②その他の製造業及び卸売業・食品製造業・サービス業 0.0 ポイント

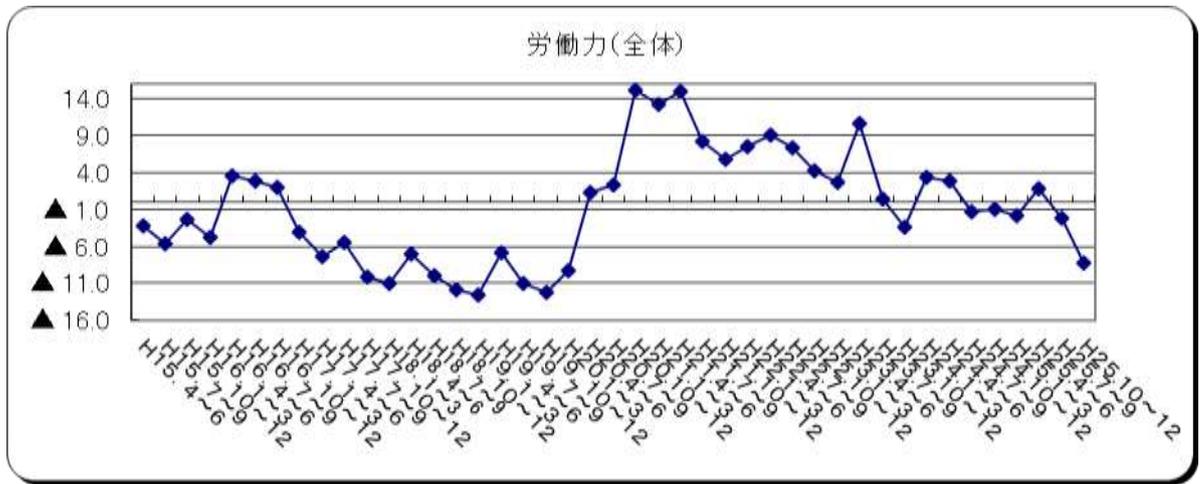


☆ 労働力について

全業種 DI 指数▲8.3、前期比 6.2 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

①飲食店 11.1 ポイント、②化学・プラスチック製造業 4.3 ポイント、③卸売業及び繊維品製造業 0.0 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲6.4 ポイント

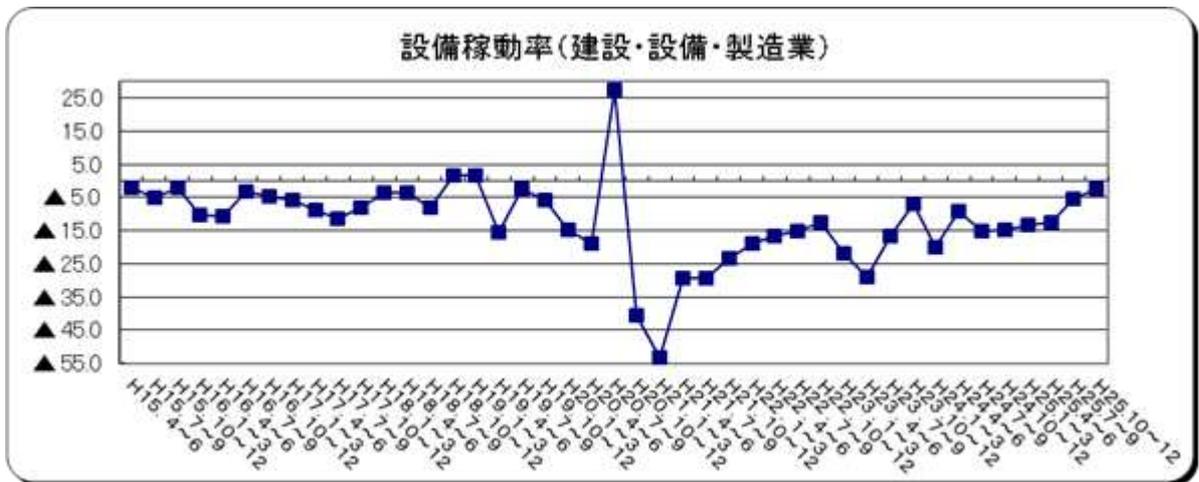


☆ 設備稼働率について (建設・設備・製造業関係)

全業種 DI 指数 ▲2.6、前期比 2.8 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 42.9 ポイント、②機械・金属製造業 10.3 ポイント、③建設業 7.7 ポイント、④食品製造業 0.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業 ▲13.4 ポイント

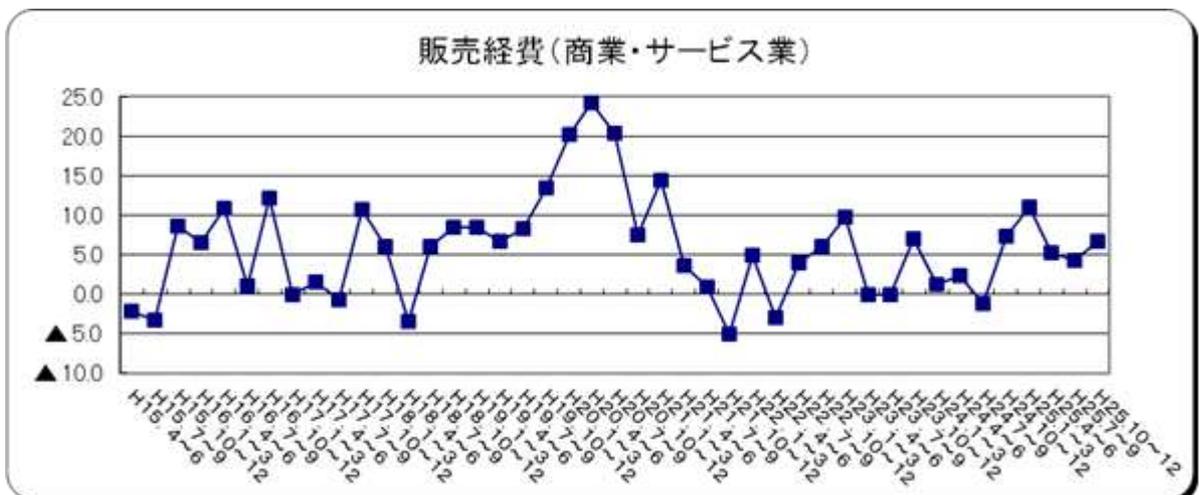


☆ 販売経費について (商業・サービス業関係)

全業種 DI 指数 6.7、前期比 2.4 ポイント増加

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①飲食店 39.1 ポイント、②卸売業 8.6 ポイント、③小売業 (飲・食料品) 8.1 ポイント、④サービス業 0.0 ポイント、⑤その他の小売業 (大型店含む) ▲6.7 ポイント

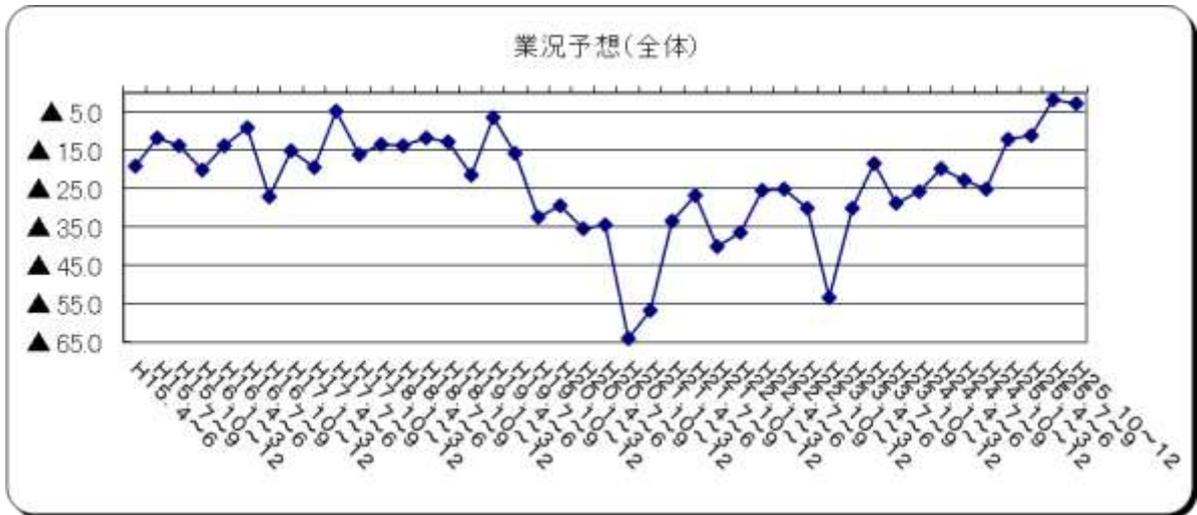


☆ 今後3ヶ月間（平成26年1~3月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲2.9、前期比1.3ポイント下落

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 42.9ポイント、②機械・金属製造業 17.6ポイント、③建設業 8.1ポイント、④繊維品製造業及び小売業（飲・食料品）・その他の小売業（大型店含む） 0.0ポイント

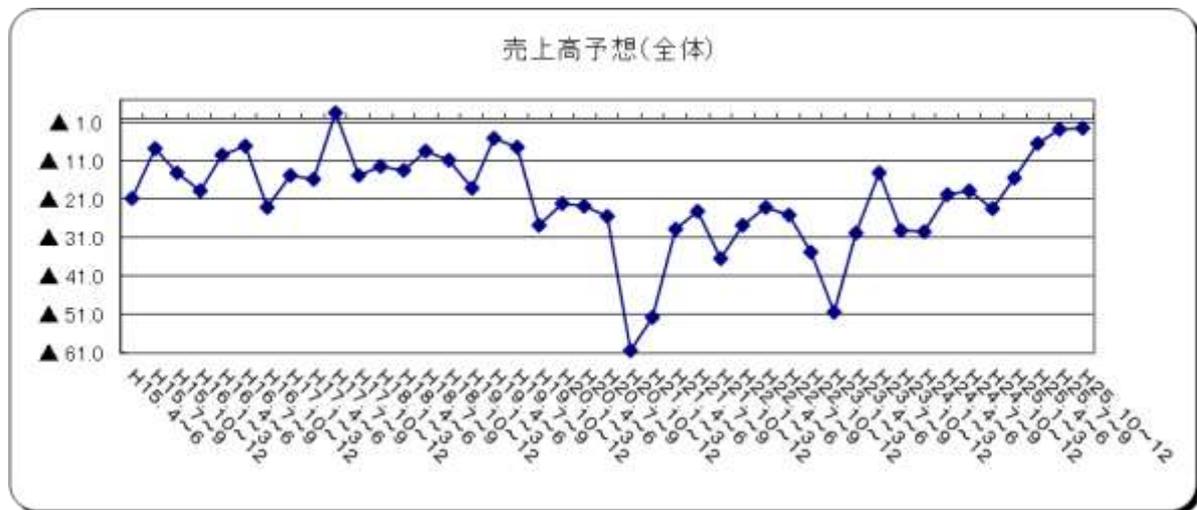


☆ 今後3ヶ月間（平成26年1~3月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲2.3、前期比0.4ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 27.3ポイント、②建設業 25.7ポイント、③機械・金属製造業 14.0ポイント、④その他の小売業（大型店含む） 7.3ポイント、⑤食品製造業 0.0ポイント

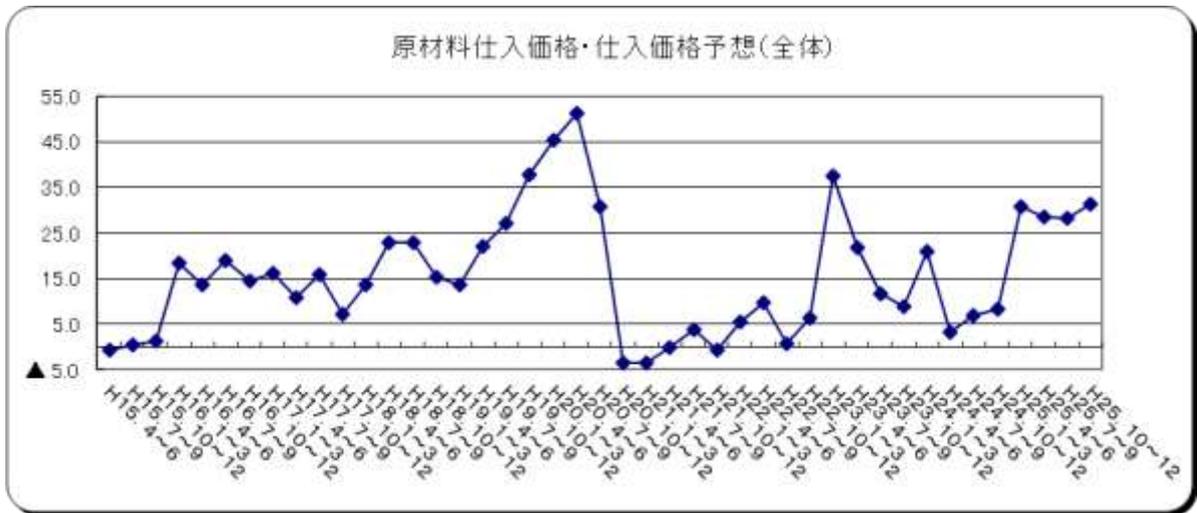


☆ 今後3ヶ月間（平成26年1~3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数31.2、前期比2.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 65.2ポイント、②食品製造業 49.1ポイント、③小売業（飲・食料品） 42.9ポイント、④サービス業 38.5ポイント、⑤建設業 33.3ポイント

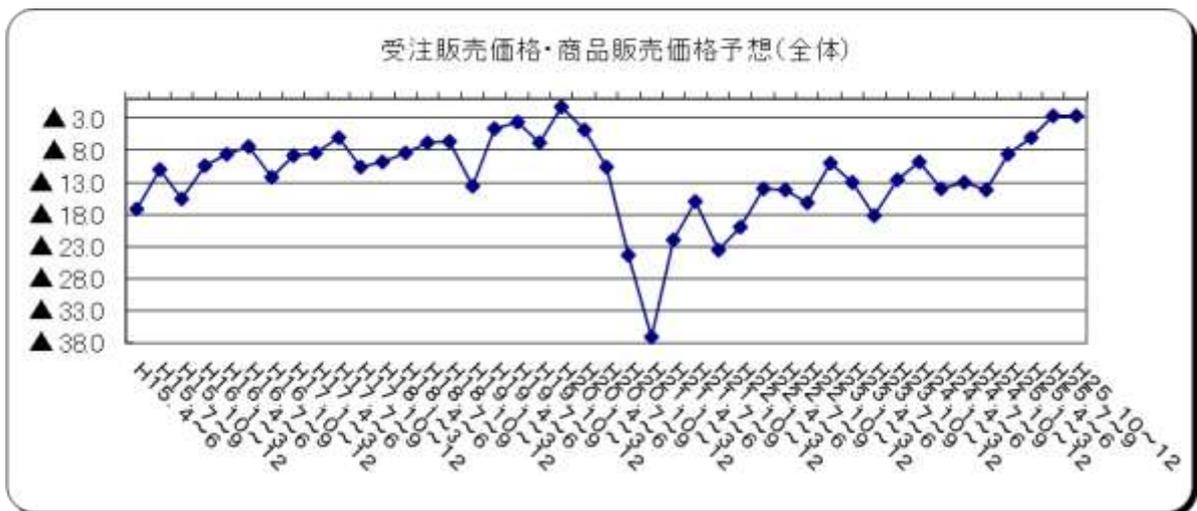


☆ 今後3ヶ月間(平成26年1~3月期)の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲2.7、前期比0.1ポイント減少

業種別DI指数(上位5業種)

- ①小売業(飲・食料品) 15.8ポイント、②サービス業 14.3ポイント、③その他の製造業 13.0ポイント、④機械・金属製造業 3.3ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)及び飲食店 0.0ポイント



## ☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

### 建設業

- ・松下塾の少年政治家が箱物、ダム、道路など造らないが3年間続いた。55～60歳のブロックタイル大工、土工、ダンプ運転者、ダンプ業社、建築業が休業大。現在は大きな建物は40%引き。土木工事は16%～20%引き。仕事をさがしてもリースの重機、ダンプがありません。大変なことになっている。

### 設備工事業

- ・記入無し

### 繊維品製造業

- ・消費税が上る事により仕入価格及び売上のバランスを心配している。
- ・当期は今までにない位、悪景気でした。
- ・繊維関連は円安に振れたものの、先行きは不透明である。

### 食品製造業

- ・正月からの厄除大師のお客様に期待したいです。さのまるグランプリで効果的な企画があるといいですね。シャッターに「さのまる」を描いてさのまるストリートなんてどうでしょう？閉店しているお店も少しはにぎやかになるのではないのでしょうか？
- ・4月の消費増税で、平成26年からの注文が増える予測
- ・一般商店がつぎつぎと店を閉めるため売上は低下。
- ・消費税導入目前で、これで好況が終息するのか。伸びた客足をつなぎ止められる、税金に振り回されない商品を開発して行けるのかが、今後を左右すると思われます。
- ・大手企業の業績は良くなっているが、中小企業の業績は依然厳しい状況が続いており、良くなった実感がありません。
- ・中国産の原料が安い時より、2倍も値上げになった。これから、製品の値上げも考えていますが、とても不安です。

### 機械・金属製品製造業

- ・先の見通しが見えない。(5月～8月先)
- ・太陽光電力関連の仕事が多く、やりきれない状況。その他、原材料の仕入高が先行しているが、価格転嫁が遅れており採算を圧迫している。
- ・アベノミクスの効果は感じられないまま年末です。東京都知事の話題でマスコミが騒いでいますが…レベルの低い話ばかりであきれています。
- ・小規模企業に回復のきざしはまだない。
- ・今年度中は今の状況が続くと予想されます。
- ・東日本大震災の復興需要、および東京オリンピックのインフラ整備による需要が予想され、受注が増加している。

## 化学・プラスチック製品製造業

- ・短納期が多い。
- ・円安による原料高が不安要素。消費税前の駆け込み受注がどの程度来るかで業績上方へ。
- ・引き続き原料仕入価格の高騰が激しいです。
- ・特に今回ナシ。

## その他の製造業

- ・来春の消費税増税を前にして駆け込み需要があり、仕事の量は増加している。また今年の新商品の売上げの上乗せがあり、好況と言える。来年上半期まではこの状態が続くもよう。
- ・電気や燃料がかなり値上げになっているのは心配ですが、景気は4～5年はまずまずではないかと思えます。

## 卸売業

- ・記入無し

## 小売業（飲・食料品）

- ・年末に向っても、寒さが増すごとに来店数、売上の減少。材料の値上りも心配です。
- ・大企業では好景況感が報じられているが、中小企業はあまり感じられない。

## その他の小売業（大型店含む）

- ・トンネルが長すぎて出口の光が見えない。

## 飲食店

- ・当期は季節的な売上（忘年会など）が増えたが、通常の売上は前期同様です。
- ・当期は売上高がやや伸びたかなと思ったが、12月に入り落ち込んだ。真の景気回復はなかなか見込めないようだ。

## サービス業

- ・来春の消費税8%がなければ景気が良くなりそうな感じがあります。
- ・円安で仕入れ材料が3割も上がった。
- ・アベノミクスが中小企業向きでなく大企業だけで来ているので、26年度は中小企業の倒産が多く出るのではないかと考えられます。

## 佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成25年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

### (1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

### (2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

### (3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

### 3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ 佐野商工会議所経営支援課 Tel（代表）0283-22-5511

